

突風の中、髪ふり乱して15人 大軍拡・大增税反対の署名を40筆集約

国領駅前で第112回宣伝行動 さすがにビラ配布は10数枚でした

2月15日(水)13:00から国領駅前で、戦争はいやだ調布市民の会の第112回宣伝行動。曇り空から駅前の高層ビルめがけて冷たい突風が吹き荒れて、襟を深く立てて通る人びとに、こちらも震え声で訴えるという「試練デー」になりました。



しかし行動参加者が徐々に15人! 訴えの原稿を用意してきてくれた土建のなかまが、元気な声でこれを読み上げると、イヤ(?)でも元気ががんばる行動になりました。さすがに、突風の中でビラを受け取ってもらうのは容易ではなく、10数枚が配れただけでしたが、前回の参加者の声に応じて改造した「記名欄の幅を広げた署名用紙」には、持ち寄り込みで40筆の署名が寄せられました。

<今日の伝言>

◆ いやだの会事務局から(一昨日に続けてのお願い)

藤川泰志・福永正明・久保真一・庄司友芳・石川康子さんらの
**家庭教育支援法を制定しないことを
求める意見書についての陳情** (改訂版を添付)
「賛同の連名」を急いで!

調布市議会が2018年(平成30年)の6月議会で、「家庭教育支援法の制定を求める意見書」を賛成多数で採択し、これを総理大臣、総務・法務・文科大臣に提出しました。昨年10月10日に「朝日新聞」が、この「家庭教育支援法」が、世界平和統一家庭連合(旧統一協会)とその関連団体が、全国で地方議会に働きかけていたものであること、この内容の意見書を提出した地方議会の一覧において、東京都では調布市だけということ、などを紹介して、話題になりました。

旧統一教会にそそのかされた4年前の「家庭教育支援法の制定を」という意見書。「撤回」させたいところですが、決議されたものは「撤回」も「取り下げ」もできないというので、しかたなく「制定しないことを求める意見書」として陳情することになりました。調布市議会での採択を勝ちとり、市議会の「間違い」を正すために、多くのみなさんが「賛同の連名」をしましょう。

実は一昨日お届けした陳情書は、議会事務局とのすり合わせで、一部修正しました。最終の陳情書を添付しますので、お目通しください。

氏名（町名）を、このメールへの返信で、お知らせください。50音順に整理して、提出者にお伝えします。

とりあえず2月20日までにお知らせください。